八幡事業所 Tel.Fax 672-7595
sawayaka@eagle.ocn.ne.jp
小倉事業所 Tel.Fax 647-3210
sawayakakokura@violin.ocn.ne.jp
HP:http://www.npo-sawayaka.net/

さわやか

2023年7月20日
第３１８号

発行者
特定非営利活動法人
通院介護センター
さわやか

令和5年度 第1回理事会開催

六月二十一日（水）午前十時より北九州市立福祉会館（ウエルとばた）八階八十一会議室において特定非営利活動法人通院介護センター「さわやか」令和五年度第一回理事会を開催しました。

出席者が全員揃ったので、定刻より十分早く始めました。

初めに山田理事長が開会宣言を行ないました。

続いて、資格審査員に貞谷事務局員が選任され、理事総数五名、出席者数五名で定款の条項を満たしているので、この理事会は有効に成立する旨報告がありました。

次に、定款に基づき、議長に山田理事長が選任されました。

また、議事録署名人に梶原常務理事と高原事務局長が選任されました。

その後、審議に入りました。

☆第一号議案・・

貞谷事務局員より令和四年度活動報告がありました。

☆第二号議案・・

梶原常務理事より令和四年度収支決算報告がありました。

☆第三号議案・・

山田理事長より令和五年度活動方針（案）の提案がありました。

☆第四号議案・・

梶原常務理事より令和五年度事業計画及び収支予算（案）の提案があり、第一号議案から第四号議案が全て満場一致で承認されました。

☆第五号議案・・

山田理事長より、七月三十日（日）に行なわれる第二十回特定非営利活動法人通院介護センター「さわやか」定期総会での役割分担等の確認がありました。

現在、「さわやか」八幡事業所がお世話になっている済生会八幡総合病院が来年秋頃に北九州市八幡西区則松に移転が決まったので、「さわやか」八幡事業所も一緒に移転することの報告がありました。

以上で理事会の議案すべての審議が終了し、午前十一時に散会しました。

急速に変わっていく社会の中で しっかりと取り組む

北九州市障害福祉団体連絡協議会 第二十六回定期総会開催

六月三日（土）十時から、北九州市立福祉会館（ウエルとばた）六階六ＡＢ研修室で北九州市障害福祉団体連絡協議会（以下障団連）の第二十六回定期総会が行われました。今年もオンラインと会場での開催となり、「さわやか」から山田と貞谷が会場で参加しました。

初めに開会宣言がありました。

続いて、林芳江会長から「障害当事者やその家族にとって学ぶことが増え、新たな働き方の定義も増えています。

急速に変わっていく社会の中で、障団連としてしっかり取り組んでいかないといけないので、活発なご意見をよろしくお願いします」と挨拶がありました。

障団連の存在は障害当事者や家族の支えになっている

次に、来賓の武内和久北九州市長が公務の都合で総会に出席できなかったので、保健福祉局障害福祉部の西尾典弘障害福祉部長が武内北九州市長のご祝辞として「林会長をはじめ、会員の皆様におかれましては地域の中で安心して生活が出来る共生社会の実現に向けて、長年にわたり活動を続けておられます。

本市ではこれまで皆様と共に障害者週間での啓発活動をはじめ、道路や公共交通機関でのバリアフリー点検、障害者差別解消法の推進等に取り組んできました。

障団連の存在は、障害当事者やその家族の大きな支えになっていると思います。

北九州市障害福祉団体連絡協議会
総会の様子

皆様のご尽力に敬意を表します」と代読されました。

また、来賓の北九州市社会福祉協議会の田中直子常務理事は「社会福祉協議会では、皆様に**【安心して暮らせるまちづくり】**を基本理念に活動していますので、皆様にも引き続き、ご協力いただきながら、地域福祉の推進に取り組んでいきたい」と挨拶されました。

本日の総会の議長に、日本てんかん協会福岡県支部北九州分会の日高真帆氏が、議事録署名人にＮＰＯ法人列島会の堺正彦氏が選任され、承認されました。

障団連事務局より、会則二十一条に基づき、会員団体数三十七団体のうち、出席団体数二十六団体、（会場二十三団体・オンライン三団体）委任団体は十一団体で、過半数を超えているので、本日の総会が成立する旨、報告がありました。

その後、審議に入りました。

第一号議案の令和四年度事業報告、第二号議案の令和四年度決算報告、第三号議案の会計監査報告がありました。

第一号議案から第三号議案までの一括審議により、承認されました。

（裏面へつづく）

事務局よりお盆休みのお知らせ

8月11日（金・祝）より
8月16日（水）まで
事務局はお休みします

ボランティアさん及び利用者の方には後日、個別にお知らせします

2023年7月20日　さわやか　第318号

Dr.江頭眞紀子氏による とっておきのお話し

好評につき【とっておきのお話し】を公益財団法人健和会 健和会京町病院の医師であり、「さわやか」の名誉顧問でもある江頭眞紀子先生に執筆していただきましたのでご紹介します。

大統領

公益財団法人健和会　健和会京町病院
医師　江頭　眞紀子

トランプ大統領がようやく引っ込んだと思ったら、プーチン大統領が世界を引っかき回しています。大統領とは民主国家の指導者のはずですが、この頃ほとんど独裁者と言っていい大統領が続いて現れています。

ところでプレジデント大統領と訳すのは不適切だと言われています。『統』も『領』も支配し権力をふるう意味ですが、プレジデントという言葉にはそういう意味は含まれていないのです。

プレジデントは主催者というほどの意味。会社の社長もプレジデント、会議の議長もプレジデント、美術館などの館長もプレジデントですね。

ジョージ・ワシントンはアメリカ独立戦争の植民地軍の司令官でしたが、独立を達成したアメリカの初代の国家指導者に選ばれた時、権力者や支配者の意味を持たないこのプレジデントと言う言葉を、自分の役職を表す言葉として選んだということです。

古代ローマ。共和制の時代、元老院から選出されて国を指導するコンスルという役職がありました。これを統領と訳します（執政官という訳もありますが）。任期は二年で、二人ずつ選出されました。戦争などの国家の危機の時には、より権限の強いディクタトールという臨時の指導者が単独で指名されました。のちに独裁者を意味するようになった言葉です。

ユリウス・カエサルは対外戦争で多くの勝利をおさめ、終身のディクタトールの地位についたのですが、共和制の伝統を乱す恐れがあるとして暗殺されたのでした。ユリウスの甥で養子のアウグスティヌスは、共和制末期の混乱をおさめて国家の指導者となったとき、「自分はただのカエサルである」と言い、ローマの第一市民と言う呼び名だけを受け入れました。だから彼をローマ初代皇帝と呼ぶのは少しおかしいのです。皇帝とは中国の独裁的支配者を呼ぶ言葉です。

しかしやがて彼の後継者は、華麗な衣装をつけ、神の代理人として君臨する独裁者となりました。それでカエサルが皇帝と訳されるようになったのです。その後のヨーロッパでは、ドイツ皇帝はカイゼル、ロシア皇帝はツァーリと言いますが、語源はカエサルです。

ところで皇帝をエンペラーと呼ぶこともありますが、これはローマ軍の司令官を呼ぶインペラトールから出た語です。

フランス革命からヨーロッパ全土に広がった戦乱の中、軍人として頭角をあらわしたナポレオンは、まず統領（コンスル）に選ばれ、その後終身統領になり、ついには皇帝にまでなったのでした。彼の場合はエンペラーとよばれました。

だから大統領という訳語は、民主主義国家の指導者としてはふさわしくないと言われるのですが、書記長とか総書記とか名乗っていた独裁者もいましたね。

このごろ会社の代表をプレジデントとは言わず、C.E.O.（最高経営責任者）などと言っているようです。

プレジデントの印象が悪くなったからでしょうか。

（表面につづく）

次に、第四号議案の令和五年度事業計画（案）と第五号議案の収支予算（案）が提案されました。

第四号議案と第五号議案も一括審議により、承認されました。

第六号議案の役員改選の提案があり、承認されました。

その後、互選にて新三役の発表がありました。

会長にNPO法人北九州自立生活センター代表の林芳江氏が、副会長に北九州市自閉症協会の事務局長伊野和子氏が引き続き就任されました。

続いて、新任の副会長として「さわやか」の山田浩美理事長が就任しました。

事務局長には、（公社）北九州市身体障害者福祉協会の森聖子氏が就任されました。

その後、新三役より挨拶がありました。

林会長は「私自身が引っ張っていくというよりも皆様から押し上げていただき、障団連の活動を盛り立てていこうと思っています」と挨拶されました。

伊野副会長は「ここ数年、活動が出来ていないので、これからまた、良いスタートが出来ればと思っています。

皆様のご協力をあおぎながら、今できる活動をしていきたいと思います」と挨拶されました。

山田副会長は「林会長を支え、伊野副会長についていきながら、常任委員の皆様、会員の皆様と一緒に頑張っていきたいと思います」と挨拶しました。

すべての議事が終了し、総会は正午に閉会しました。